

# 着火回数の抑制で省エネ&CO<sub>2</sub>削減!



## 大阪府某老人福祉施設

特別養護老人ホーム(定員80名)  
ショートステイ(定員20名)  
デイサービス(定員18名)

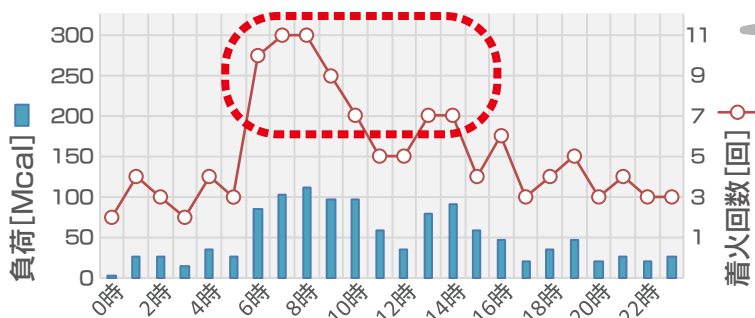
### 設備概要

給湯方式: セントラル給湯方式  
ボイラー型式: ECALO-6500G-WH  
出力: 756kW  
貯湯タンク: 4,000L



## 省エネ診断実施!!

2023年4月11日~2023年5月6日のデータを収集

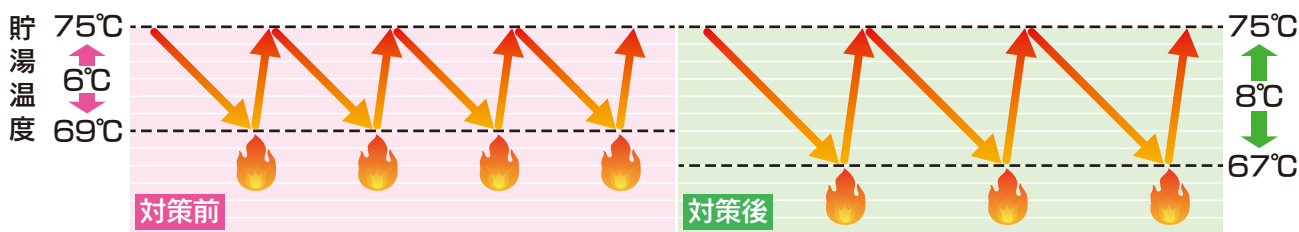


### 分析結果

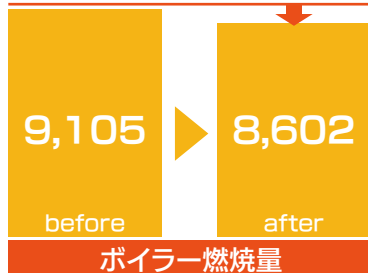
ボイラー能力に比して給湯負荷が少ないためにボイラーの着火回数が多くなり、非効率な運転をしていることが判明。  
ボイラーは着火時・停止時に安全確保のため残留未燃ガスの排出送風運転を行う。その際にボイラー内の熱まで排出してしまうため、**エネルギーロス**となっていた。

### 対策1 主設定DIFFを6℃から8℃に変更

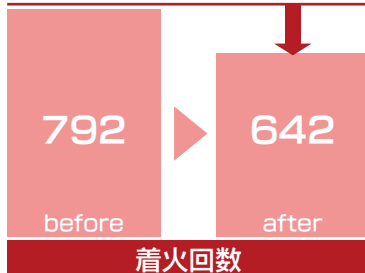
### 対策2 Lo燃焼ガス量を10%ダウン



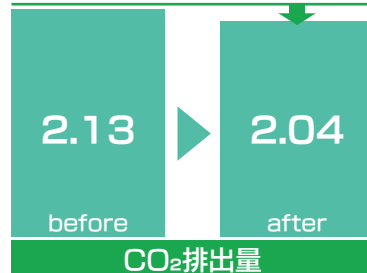
503Mcal 削減



150回 削減



0.09t 削減



対策後の8日間で約0.09t(4.2%)のCO<sub>2</sub>排出抑制を確認しました!